

関係各位

浜松市 財務部 技術監理課長
山下 真司

営繕研修「地震による天井被災状況と脱落対策」
開催のご案内（建築設計事務所向け）

平素は、浜松市の営繕業務全般にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

技術監理課では、浜松市発注の営繕（建築）工事設計業務の円滑な推進を図ることを目的に、営繕担当者向けの各種研修を企画・運営しています。

今回は、J A C C A（日本耐震天井施工協同組合）技術参事の 塩入 徹 氏を講師に迎え、「地震による天井被災状況と脱落対策」について、ご講義いただきます。

つきましては、浜松市発注の工事関連業務委託（設計・工事監理）を受託する市内建築設計事務所の皆さんにも、聴講いただきたく案内します。是非、この機会にご参加いただきますようお願い申し上げます。

参加を希望される方は、下記によりお申込みください。

記

日 時：令和 7 年 1 1 月 1 3 日（木） 午後 1 時 3 0 分から 4 時まで

会 場：浜松市地域情報センター 3 階 第 2 研修室

内 容：【題名】地震による天井被災状況と脱落対策

【講師】塩入 徹 氏（日本耐震天井施工協同組合：技術参事）

※添付のパンフレット参照

対 象 者：工事関連業務委託（建築）を受託する市内建築設計事務所

募集人員：3 0 人程度

申込方法：受講を希望される方は、申込用紙に必要事項をご記入のうえ、
メールにて技術監理課までお申し込みください。

申込期限：令和 7 年 1 0 月 3 1 日（金）

担当 ：浜松市財務部技術監理課
営繕監理グループ（唐澤、村松）

TEL ：053-457-2426

E-Mail：gijutsukanri@city.hamamatsu.shizuoka.jp



理念

私たちは、地震災害から
国民の生命と財産を守るため、
天井の耐震化による「安全・安心」を
空間づくりに取り取り組み、
地震に強い社会の実現を目指します。

JACCAの成り立ち

日本耐震天井施工協同組合（JACCA）は、1999年に建設された
コンクリートラック・スライズ・インベージョン協同組合を母体に、耐震天井
の導入と普及とその活動目的として2008年に改組・設立された
国土交通省の認可団体です。設立以来、組合員である内装工事
職の増えと増える活動を行っています。

JACCAは「安全・安心」な空間を提供することを目的に、耐震天
井耐震化を導入し、正しい耐震天井を施工すべく、組合員向け
研修会を通じて耐震天井施工技術者を養成してきました。また、
既存天井の耐震診断の必要性から、天井耐震診断士の養成
にも取り組んでいます。

天井耐震診断

天井の耐震化に向けて、まずは「天井耐震診断」から

専門的な知識と知見を持つJACCA天井耐震診断士の「天井耐震診断」により、耐震化に向けた計画・設計を
サポートしています。

平成27年に改正・施行された建築基準法第12条「定期報告制度」では建築物所有者、管理者に特定天井の天井裏の
劣化及び損傷の定期点検が義務付けられています。

ところが法令通りに天井裏の各天井材の断、組みや外れを正しく点検していないケースがとて多く、天井下地等が
破損したまま無断で使用されています。JACCAの天井耐震診断報告書は12条定期報告制度の補助資料としても
活用することが可能です。

定期的に天井の状態を確認することが、いのちを守る空間づくりと施設の機能維持につながります。

なぜ耐震診断が必要？

下から見上げて壊れていない天井、落下しなかった天井も天井裏
では破損しているケースが殆どです。確認した天井のうち、約7割
の天井に破損等が発見されました。

2016年4月に発生した熊本地震でも大規模な天井の破損が
問題となり、特に事務所となる施設の天井が脱落し、防犯カメラ
での撮影がとれない事例が散見されました。

破損したままの状態で、地震発生時に天井が落下し避難所とし
ての機能減損や人命危険の発生が懸念されています。

天井には落下の危険が潜んでいます



天井材が落下した状態で、作業員が作業中。落下した天井材が作業員を直撃する危険があります。

360° 確体パノラマ写真

金が他の施工状況を確認できます。周囲
の天井も確認しやすくなります。
天井内部も確認しやすくなります。
天井内部も確認しやすくなります。
天井内部も確認しやすくなります。

天井内部も確認しやすくなります。

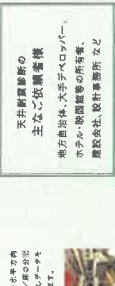
どんな調査？

JACCA天井耐震診断士が吊钩口またはキャットウォークから
直接および測定を実施し、対象となる天井下地材・仕上材
の現状を把握した上で報告書を作成します。

JACCA天井耐震診断士の依頼書と50項目のチェックリストを作成
天井耐震診断士が吊钩口またはキャットウォークから



天井耐震診断士が吊钩口またはキャットウォークから天井下地材・仕上材の現状を把握しています。



天井耐震診断士が吊钩口またはキャットウォークから天井下地材・仕上材の現状を把握しています。

耐震天井の保証

組合員の施工を日本耐震天井施工協同組合が保証します。組合員が施工した天井を保証することによって、建物の
主地権者から工事業者の方々に安心して耐震天井を施工していただけます。万一地震による天井落下が発生
した場合には日本耐震天井施工協同組合が責任を負います。保証制度により保証を受けることができます。



耐震天井セミナー

建物の所有者、管理者の方には、天井耐震化の重要性を認識していただき、一層も強く対策を講じて
いただくために、事例を用いた講義、工場の解説、補助金制度などの情報を提供します。
技術者の方には、天井に関する法規や正しい耐震天井の見分け方、設計上の注意事項等を理解
していただきます。

■ 耐震講習 ご協賛の要約に合わせたオーダーメイドの勉強会の開催を承っております。
国土交通省建築技術研修員、地方法政、国立大学、建築士事務所、
建築士会、全国独立文化機関等 など

施工研修会

天井施工業者の技能レベル向上を目的として『耐震施工技術者』を
養成しています。

地震による天井落下の原因の一つとして施工不良が考えられます。耐震天井の施工は
誰でも施工できる天井ではありません。天井の耐震化に関する知識と技術が必要です。

耐震天井 クリップなどパーツを接続する プレース（嵌め込み）を駆使する
4つのポイント クリアランス（隙間）を確保 JACCA耐震天井施工技術者による施工

天井耐震診断士認定講習会

天井のスペシャリストとして『天井耐震診断士』を育成しています。

天井耐震診断士は、一般・二級建築士、1級・2級建築施工管理士、技術士の資格を持ち、
JACCA天井耐震診断士認定講習会を受講し試験に合格した者です。

天井耐震診断士は天井耐震診断士が調査した天井の現状を把握し、天井の劣化や損傷の
天井の専門家でなければ正確な診断と適切な補修を提案できないため、天井の点検は
天井耐震診断士にご依頼ください。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、2000年所以上の東京が陥下し、太平洋を含む北陸道沿部の断層や河川により55名もの犠牲者が出ました。2014年4月には耐震天井の基準が法文化されるなど、天井の耐震へ大きく関与してきましたが、予震の発生などの経験をもふくみ、安全で安心な天井の耐震への取り組みは、全国的に盛れはまた十分なものとは言えません。このような現状下、JACCAは耐震天井の普及活動にも取り組み、施設の所有者、管理者をはじめ、設計者の皆さま向けに、耐震天井セミナーも開催してまいります。

また、2017年中小企業庁から緊急要需供給制度として証明されたことから、これらの活動をバックアップし、仕組にも増して積極的に進めたいと考えています。

JACCAは天井の耐震化の必要を訴え、耐震天井の導入と普及を推進し、「安心・安心」を空間を提供してまいります。今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

日本郵船 天井 國工造船問題を理事會議
中上裕

日本郵船・天井南工務問題合同専長

中上 裕

コンプライアンス

私たちは、日本郵船・天井南工務問題合の組合員として、

1. 郵便・天井の郵便工務問題としての認識と理解を深めること
2. 安全・安心の郵政民営化の推進と、社会問題に貢献すること
3. 郵政民営化の推進と、郵政に関する問題を広く社会に普及し、安全な郵政サービスを提供すること

を目標としています。

1. 野間英子の加工技術としての記憶・検討・想像を高めること
2. 彼女が暮らした宮城天井の海流を通じて、社会問題に貢献すること
3. 野間英子の美意識に関する情報をもとに彼女に類似し、安全な習得問題を提供すること

をめざしたいと思います。

1. 野間英子の加工技術としての記憶・検討・想像を高めること
2. 彼女が暮らした宮城天井の海流を通じて、社会問題に貢献すること
3. 野間英子の美意識に関する情報をもとに彼女に類似し、安全な習得問題を提供すること

をめざしたいと思います。

金員	組 合 員
内務省上工務部または土木部附サービス兼を行う法人もしくは個人	組合の趣旨に賛同し、その活動に協力する法人
	天井の副(假)協同組合を行う法人もしくは個人
	理事会において推選された法人もしくは個人
	特別 会 員



1999年(10月)	コンストラクターズ・イン・イノベーション・フォーラム 開催(国産設立)
2001年 3月24日	年収134億を予想(国産)
2003年 9月26日	年収156億+増大(国産)
2004年10月23日	年収165億+増大(国産)
2005年 6月16日	8・16震災復興(国産)
2007年 8月25日	年収189億+増大(国産)
2007年 7月16日	年収185億+増大(国産)
2008年 6月14日	年収202億+増大(国産)
2008年11月	日本建設業安全衛生協会の設立(国産)
2009年 4月	新築大井町工務所開設(国産)
2009年11月	→2009年4月に東京で「第1回工務協会を築造 第1回 総会開催
2010年11月	第1回 通常総会開催
2011年 4月	天井建設・鈴村士建設と合併(国産)
2012年 3月	組合員数 500社
2012年11月	一般建設士 市面を参戦
2014年 6月	【新入選出第2回天井建設組合総会開催の手段も】発行
2016年 4月14日	平成28年度事業計画
2017年 5月	官公営施設市場進出に着手
2017年12月	組合員数 800社
2019年 9月 6日	平成30年度事業計画(国産)



日本耐震天井施工協同組合

<http://www.jacca-d.jp/>

〒160-6605 東京都千代田区西のり1-2-2 グラントウウォウサウスタワー5階

日本耐震天井施工協同組合について詳しい内容はP.17をご覧ください。





建設業振興会
建設業協会

JACCA 日本耐震天井施工協同組合
http://www.jacca.or.jp/

〒100-6605 東京都港区新保1-9-4 グラントオオサカスタワー5階
TEL: 03-2424-2490 (昼・9:00~17:30) FAX: 03-4876-0100
E-mail: info@jacca.or.jp

日本耐震天井施工協同組合
日本耐震天井工の技術と品質を向上させるため、
はばくを定めています。

QRコード

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

JACCA 日本耐震天井施工協同組合
http://www.jacca.or.jp/

〒100-6605 東京都港区新保1-9-4 グラントオオサカスタワー5階
TEL: 03-2424-2490 (昼・9:00~17:30) FAX: 03-4876-0100
E-mail: info@jacca.or.jp

日本耐震天井施工協同組合
日本耐震天井工の技術と品質を向上させるため、
はばくを定めています。

QRコード

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

JACCA 日本耐震天井施工協同組合
http://www.jacca.or.jp/

〒100-6605 東京都港区新保1-9-4 グラントオオサカスタワー5階
TEL: 03-2424-2490 (昼・9:00~17:30) FAX: 03-4876-0100
E-mail: info@jacca.or.jp

日本耐震天井施工協同組合
日本耐震天井工の技術と品質を向上させるため、
はばくを定めています。

QRコード

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

JACCA 日本耐震天井施工協同組合
http://www.jacca.or.jp/

〒100-6605 東京都港区新保1-9-4 グラントオオサカスタワー5階
TEL: 03-2424-2490 (昼・9:00~17:30) FAX: 03-4876-0100
E-mail: info@jacca.or.jp

日本耐震天井施工協同組合
日本耐震天井工の技術と品質を向上させるため、
はばくを定めています。

QRコード

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

建設省 建築士会連合会 建設業振興基金助成事業

安全はつくれる。安心はここにある。



JACCA 日本耐震天井施工協同組合
JAPAN ANTISEISMIC CEILING CONSTRUCTORS ASSOCIATION

安全はつくれる。安心はここにある。



The collage consists of three distinct images. The top image shows a modern building with a glass facade and a blue sky with clouds. The bottom-left image shows a worker in a white protective suit and helmet, standing in a room with a wooden floor and walls. The bottom-right image is a close-up of a worker's hands holding a small object, possibly a tool or a component, against a dark background.

JACCA 日本耐震天井施工協同組合
JAPAN ANTISEISMIC CEILING CONSTRUCTORS ASSOCIATION

営繕研修「地震による天井被災状況と脱落対策」

申 込 用 紙

開 催 日：令和7年11月13日（木）

午後1時30分から

開催場所：浜松市地域情報センター

3階 第2研修室

記

参加希望者名簿

事務所名	
事務所所在地	
参加者役職・氏名	
電話番号	
E-Mail	

上記のとおり、研修を申し込みます。